日時　平成27年11月25日
午後7時～9時
場所　園コミュニティセンター

園地区まちづくりふれあいトーク

■次第

1	開会	午後７時00分
2	市長あいさつ	
3	出席者紹介	
4	昨年のふれあいトーク報告	～
5	地区の事業概要	
6	質疑応答	
7	地方創生について	８時20分
8	意見交換会	～
9	閉会あいさつ	９時00分

市長あいさつ

■出席者紹介

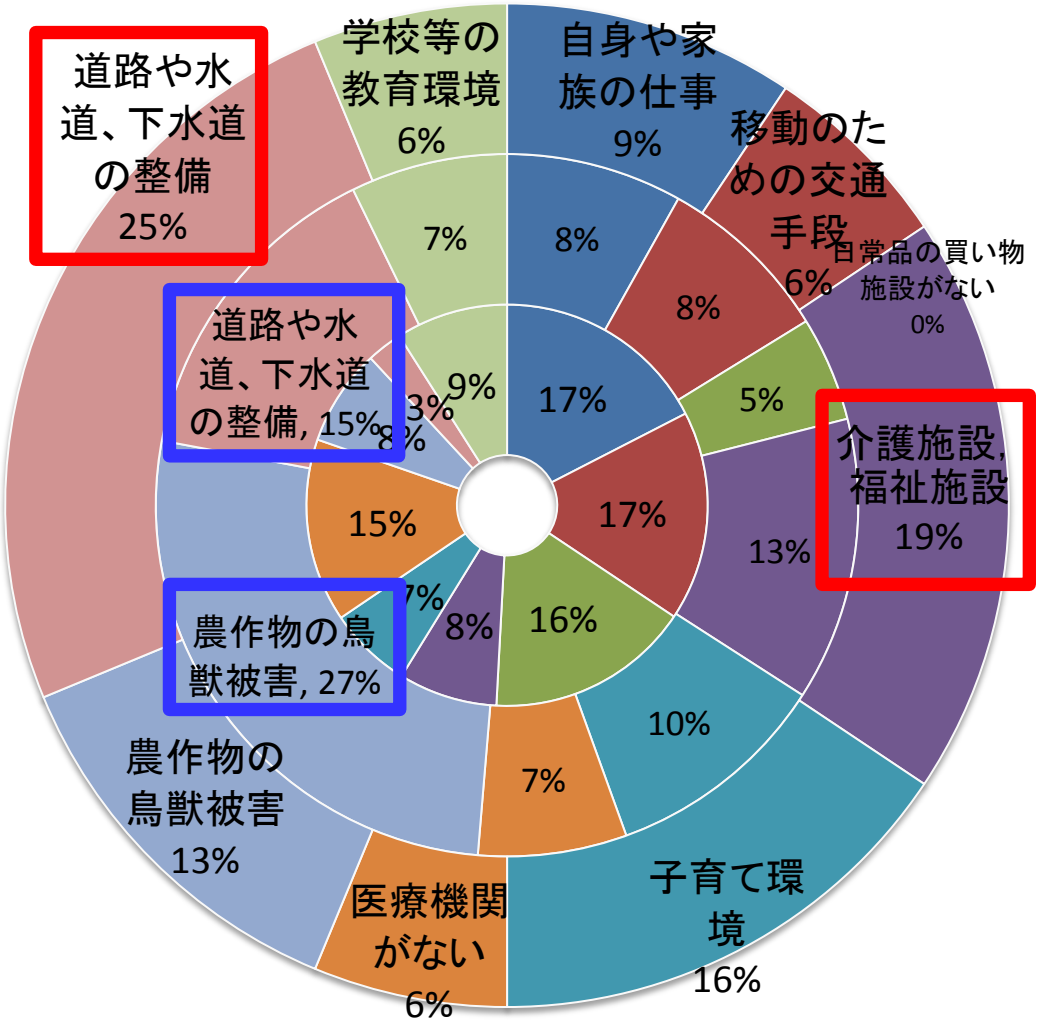
役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
市長政策・都市経営戦略部長	高橋　正明	秘書・市民情報課　地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室　スポーツ文化マネジメント室
地方創生政策監	宮本　祐輔	地方創生総合戦略策定や氷見市人口ビジョンに関すること
防災・危機管理監	濱井　博文	自然災害や原子力災害対応
まちづくり推進部長	荒井　市郎	都市計画・まちのグランドデザイン課 商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 海浜植物園・花みどり推進室　魚々座・漁業文化推進室
総務部長	桶元　勝範	総務課　財務課　税務課
市民部長	山口　優	福祉介護課　子育て支援課　市民課　健康課 病院事業管理室　環境・交通防犯課
建設農林水産部長	福嶋　雅範	建設課　上下水道課　農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室　水産振興課
教育次長	草山　利彦	教育総務課　学校教育課　教育総合センター 図書館　博物館
地域担当職員	布尾　誠	（所属）　芸術文化マネジメント室
地域担当職員	高野　弘文	（所属）商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課

昨年のふれあいトーク報告

■昨年度のアンケート結果

困り事

日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？



外円：窪地区
中円：氷見市全体
内円：全国農漁村調査結果

関心事

ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？

- けやき並木の落ち葉について･･･落ち葉の処理に大変な苦労をしているので、ケヤキを全部切り取る、歩道も木の根っこで持ち上がっている。ケヤキに変わりに針葉樹など葉の落ちない樹木を植える
- 土地利用について
- 福祉について
- 海岸の用水が埋まることについて、昔は台風くらいだったが、今は浜が細くなり、どう対処しても波を止めれないと思う。海の中へジャバラなり波消しを投入するなどの検討はどうなのか。
- 災害時の対処の仕方、行動について
- 西条地区灌漑
- 西条集会場の建て替え
- 園川の改修→堤防の改善（拡大）
- 地区と市の協働
- 環境整備について
- 海岸の汚れ、松くい虫
- 観光都市氷見としての進み方
- 氷見伏木線の供用開始時期について

■これまでの質問や要望の対応

27まちづくり
ふれあいトーク

対応済または対応中

2001-環状南線のケヤキの剪定
2004-柳田地区の住環境
2006-子育てサークルの活動資金
2010-自転車道路の並木の剪定
2011-原子力防災30km圏外への説明
2017-第３子以降の保育園無料化

27年度内

2008-仏生寺川右岸の防護柵改修
2014-西条地区集会所

可能

28年度以降

2002-排水路にたまる流木や土砂
2003-用水、排水路が沈下し使えない
2005-子どもが遊べる児童公園
2007-園川水門の電動化
2009-側溝改良のスピードアップ
2012-街路灯整備
2013-農地保全と効率的な土地利用
2015-南地区に芸術文化ホール
25/1221-側溝改良
25/1226-土地利用の計画策定

未　定

参考意見　2016-側溝改修の市の対応

※会場や現地確認で出たご質問やご要望を記載

■2001-環状南線のケヤキの剪定(窪)

剪定工

着工前

剪定工

完了

10月3日

剪定工

着工前

剪定工

完了

10月3日

剪定工

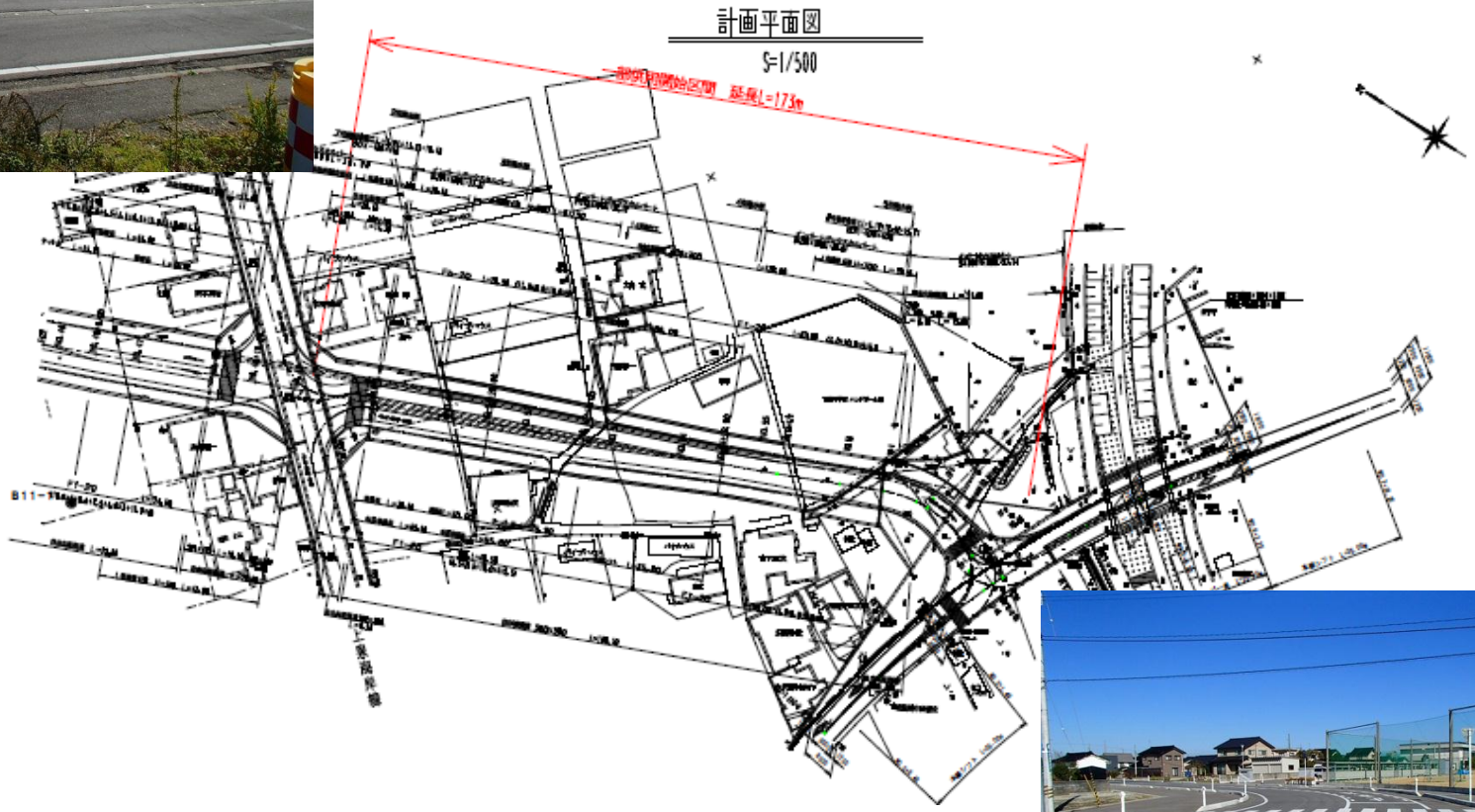
着工前

剪定工

完了

10月3日

■2004-柳田地区の住環境（氷見伏木線）　8



■2008-仏生寺川右岸の防護柵改修（窪）　9

工　事　名　市道仏生寺川右岸線防護柵補修工事
工　事　費　7,063,200円
契　約　日　H27.11.13
完成予定日　H28. 1.22

■2010-自転車道路の並木の剪定（園）　10

氷見市の空き家対策

①空き家情報バンク制度

市内の空き家を売りたい・貸したい方に、空き家登録をしていただき、市外の方を対象に紹介

全登録数10軒　園地区内0軒　（11/24現在）

②セカンドライフ住宅取得補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を購入した場合、購入費又はそのリフォーム費の1/2補助（上限50万円）

③定住促進家賃補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を借りた場合に家賃の1/2補助（月上限2万円・2年間）

④田舎暮らし体験ゲストハウス

市内への移住を考えている方を対象にした、生活体験宿泊施設（最高6泊まで可）

⑤まちなか地区居住支援補助金

まちなかの居住者が、隣接する土地を売買した場合、購入者と売却者に補助

購入者1㎡につき2千円・上限20万円

売却者1㎡につき1千円・上限10万円

⑥住宅取得支援補助金

市内で住宅を取得または増改築をした場合、固定資産税相当額を2年間補助（上限50万円）

ただし対象者要件あり

⑦空き家紹介奨励補助金（H27新規）

空き家情報バンクに登録可能な空き家及びその所有者を市に紹介した方に対し、成約1件当たり2万円を補助

⑧フレンドリー定住モデルコース（H27新規）

主に「子育て世帯」を対象として、知りたい・感じたいことを1泊から2泊で体験していただく。参加費は無料。ただし、島尾ゲストハウスの宿泊費、食費や氷見までの往復交通費は参加者負担

⑨危険老朽空き家対策事業

市街地で土地を含めて市に寄附のあった住宅を市が解体撤去

⑩危険老朽空き家対策事業補助金

廃墟になった空き家の取り壊し費用の2/3補助

（上限30万円→50万円にアップ）

ただし地域活性化で土地利用することなどの要件あり

空き家情報バンク物件

No.	住所	条件	延べ床面積	建築時期
1	氷見市柳田	賃貸	217㎡	昭和52年頃
2	氷見市中波	売却	228.52㎡	昭和43年頃
3	氷見市幸町	賃貸	114㎡	
4	氷見市七分一	賃貸	85.38㎡	昭和50年頃
5	氷見市阿尾	賃貸	175.54㎡	昭和40年頃
6	氷見市南大町	賃貸	101.25㎡	昭和45年頃
7	氷見市朝日丘	賃貸	160.9㎡	昭和41年頃
8	氷見市朝日本町	賃貸	117㎡	昭和46年頃
9	氷見市見内	売却	75坪	昭和35年頃
10	氷見市姿	売却	113.93㎡	昭和48年頃

園地区の事業概要

■地区の工事箇所

実施年度	工　事　名	工事場所	契約日	完成日	契約金額または予算額(円)
H27	公共汚水桝設置(その2)工事	園	H27.4.13	H27.5.29	223,560
H27	公共汚水桝設置(その6)工事	園	H27.4.24	H27.5.29	251,640
H27	園調査区地籍調査数値情報化業務委託	園	H27.7.27	H28.2.26	810,000
H27	公共汚水桝設置(その11)工事	園	H27.10.28	H27.11.27	341,280
				H27計	1,626,480

■工事以外の事業

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額または予算額	担当課	備考
H27	健康ウォーキング（窪校下）	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施（11月予定）	5,000	健康課	
H27	幼児食らくらくメニュー講座（窪校下）	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し,食生活等の改善を図る。（3月11日）	7,000	健康課	
H27	健康教室（窪校下）	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。（9月6日）	14,000	健康課	
H27	こころの健康教室	ふれあいランチ参加者に「高齢期のうつ」をテーマにこころの健康教室を開催し、うつの啓発や相談機関についての情報提供をする。（5月27日）	職員対応	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。（10月14日）	2,100	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。（3月2日）	3,000	健康課	

■工事以外の事業

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額または予算額	担当課	備考
H27	子育て広場(窪校下)	地域の保育園を会場に年1回、未就園児とその家族を対象に健康教室を行い、家族ぐるみで健康づくりの実践ができるように働きかける。(7月1日ひかり第2保育園、12月9日海清保育園)	4,000	健康課	
H27	健診PR活動(旗立て)	受診勧奨のため、地区内に健診PRの旗をたてる(7～9月)	2,000	健康課	
H27	道路の原材料支給事業	園　砕石　20t	4,320	建設課	
H27	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等)農村環境保全活動(花壇の造成等)へ支援	823,700	農林畜産課	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵　園　1件	10,000	いのしし等鳥獣害対策室	
		H27計	875,120		

■事前質問

①一人暮らし、高齢者が安心して暮らせる地域ネットづくり
地震、津波、原子力災害、自然災害、日常生活の支援までが必要。自治会、社福協、民児協等、各地域別の支援より一元化一体化したチーム、支援、体制が必要ではないか。

【回答】
高齢者が安全で安心して生活できる地域づくりのために、今後ますます、「自助・共助・公助」による支えあいの体制が必要です。これまでに、地域の見守り体制としてケアネット活動や安心生活創造事業など、各地域で必要な取り組みを行っていただいています。
また、災害時の支援体制づくりなど、地域の一体となった取り組みが必要です。
そのために、地域の課題についてより多くの人が関わりを持って検討していくために、地域づくり協議会などの総合的な組織の中で話し合うことも有効であると考えています。

②異常気象、超異常気象対策
光が丘区域住宅、水田冠水防止対策、検討実地要望。西條地域に50mm/Hの集中豪雨が2時間続くと住宅浸水約60戸、水田浸水約150,00㎡の冠水発生（平成14年集中豪雨の災害発生時に、防止対策要望書を平成15年に市、県へ提出、現在未解決）

【回答】
園地区の雨水排水には十二町潟排水機場が重要な働きをします。現在、国・県・市で5億円を投じ、4年計画で電気設備の更新を行っています。地元負担はありません。
まずは、今ある設備を安全に使えるようにすることが重要と考えており、今後、能力アップについても国・県に強く要望していきます。

③園川は永年川ざらいをしたことがなく、土砂、異物がたまり流れが悪くなっているため、流域の冠水、浸水の一因である川底堀りざらいを検討してほしい。

【回答】

平成28年度に浚渫を検討しています。

④市民会館

文化的要素を持つ複合施設（美術館、博物館、図書館、音楽堂、研修室等含む）に関し市が文化面に対してどのように考え動いているのか。また、現在芸能大会、発表会、展覧会等がふれスポや市外の場所で開催されている状況について、いつ解消できるのか説明してほしい。

【回答】

市では5年後を目途とした新たな文化施設の整備を目指して作業を進めています。市民会館の休館に伴うふれあいスポーツセンターなどの代替施設の利用については、５年後を目途に解消できると考えています。

本年度、本市の文化政策の指針となる文化条例の策定と新文化施設の基本計画を含む文化振興マスタープランの策定に取り組んでいます。新たに整備する文化施設は、単に鑑賞の場、発表の場を提供するのではなく、「文化芸術の持つ力」をこれまで文化芸術に触れ親しむ機会の少なかった方々にも教育、福祉、医療などの分野と連携して提供することや、地域課題の解決に役立てていくことが必要だと考えています。施設の複合化については、公共施設の再配置計画の議論もあることから市全体のグランドデザインの検討と連携して判断していくこととしています。

⑤中学校にサッカー施設

西條中学校にサッカー施設の環境が整っていないため、練習を中断もしくは市外へ練習に出向く現状です。今や国民的スポーツとして、青少年が小中高校続けて練習できる環境が必要だと思います。中学校のサッカー施設の充実を検討してほしい。

【回答】

市内の中学校には、すべてサッカーゴールが備えてあり、体育の授業でサッカーを行っています。西條中学校のグラウンドについては、野球部、ソフトボール部、男女ハンドボール部が放課後及び土日に使用しています。市内のサッカー施設としては、氷見運動公園の芝生広場、多目的広場があり、それぞれ2面ずつ、合計4面のサッカーコートがとれ、申し込むことにより無料で利用いただけるようになっています。

⑥歩行者、自転車専用道路の管理

大浦運動公園より伊勢大町方面（特に運動公園～窪地区）、歩行者、自転車専用道路の樹木及び雑草管理に関して、現状は、年を通して剪定と草刈りは行われているものの回数が非常に少なく景観及び防犯に配慮した対応をお願いします。

上記現状の問題として

- ●樹木の枝及び草が伸び通勤、通学及び散歩される方がすれ違いに不具合が生じている。
- ●風雨時に倒壊している箇所もあり通行時に災害の恐れあり。
- ●夕方より外灯の明かりが届かず（中には枝が接触し点灯しない箇所もあり）暗く、犯罪や災害が生じやすい。
- ●その他捨てゴミなどの温床となっている。

【回答】

市道万葉1号線の樹木については、昨年度のご指摘を受け、今年4月と9月に剪定を実施しました。樹木も大きくなっていますので来年度は強めの剪定を計画しています。今後もパトロールを実施し、適正な管理に努めていきます。

⑦-1園川の水門の改修、埋没土砂の撤去、水門（ゲート）の改修

※園川は、園地区の水田の用水として水門を設置し利用しているが、近年の多出水により水害対応のため、水門の上げ下げの回数が多くなっている。また水門は手動式で、設置後約30年が経過している。よって電動式等を含めて利用しやすい水門に改修、下流部の砂溜の機能回復、副水路側のゲートの老朽化に対する改修をお願いしたい。

⑦-2ため池の埋没土砂の撤去、堤防の改修

※ため池は土砂の流入や有機物の堆積により、能力の低下等となっている。また、下流に民家があるため耐震性の堤防に改修をお願いしたい。

⑦-3農道の舗装

【回答】

⑦-1水門の改修は、農業用施設であることから、土地改良区が事業主体になり県単土地改良事業で行うことは可能とのことです。市としても応分の負担をいたします。
市、土地改良区、受益者の皆さんと協議しながら進めることが最善と考えています。

⑦-2堆積土砂の撤去には、市単土地改良事業の助成を活用することができます。日常の維持管理にお努めください。
堤防の改修は、農業用施設であることから、地元負担が伴いますが、市においても応分の負担をいたします。受益者のみなさまと、市、土地改良区とが協議しながら進めることが最善と考えています。

⑦-3市では、集落道や農林道の維持管理のための補助を用意しています。原材料支給もその1つです。ご利用をご検討ください。

質疑応答

地方創生について

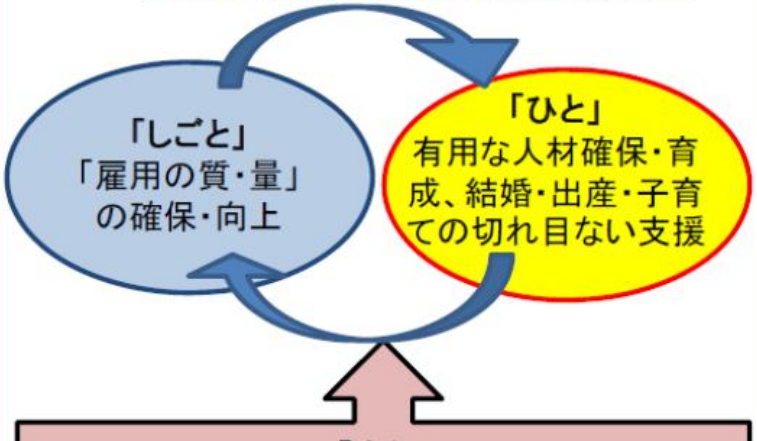
まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

【基本的考え方】

【基本的視点】

①東京一極集中の歯止め
②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



【過去の政策検証】

- ●「縦割り」構造
  - ・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- ●「全国一律の手法」
  - ・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- ●「バラマキ」
  - ・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- ●「表面的な」取組
  - ・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- ●「短期的」な成果
  - ・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

【政策5原則】

自立性	地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
将来性	地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
地域性	各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
直接性	ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
結果重視	短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義
―人口減少時代の新たな行政革新―

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析―「分析企画」
・客観的データに基づく戦略策定
・行政と地域住民の意識共有
「地方人口ビジョン」
「地域経済分析システム(RESAS)」

2.「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応―「複眼思考」
・「積極戦略」：人口減少の歯止めのための戦略（人口流出防止、出生率向上）
・「調整戦略」：人口減少に即した戦略（効果的・効率的な行政・まちづくり）

3. 地域の「産官学金労言」の参画―「調整結集」
・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
・幅広い各層（女性や若者、外部人材も）の意見汲み上げ、
産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4.「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底―「成果重視」
・5年先の「数値目標（成果目標）」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携―「広域連携」
・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
・個別事業（広域観光、都市農村交流など）での市町村連携

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

＜地方人口ビジョン＞
○人口の現状分析
○人口の将来展望

↓

＜地方版総合戦略＞
○基本目標（成果目標）
○KPI（重要業績評価指標）

↓

○各分野の施策

氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の４つの基本目標

基本目標Ⅰ
(**安定した雇用**を創出する)

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

基本目標Ⅱ
(**新しいひとの流れ**をつくる)

「回遊する人材を定置網のように受け止めるまち氷見」を実現する

基本目標Ⅲ
(**結婚・出産・子育て**の希望をかなえる)

氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

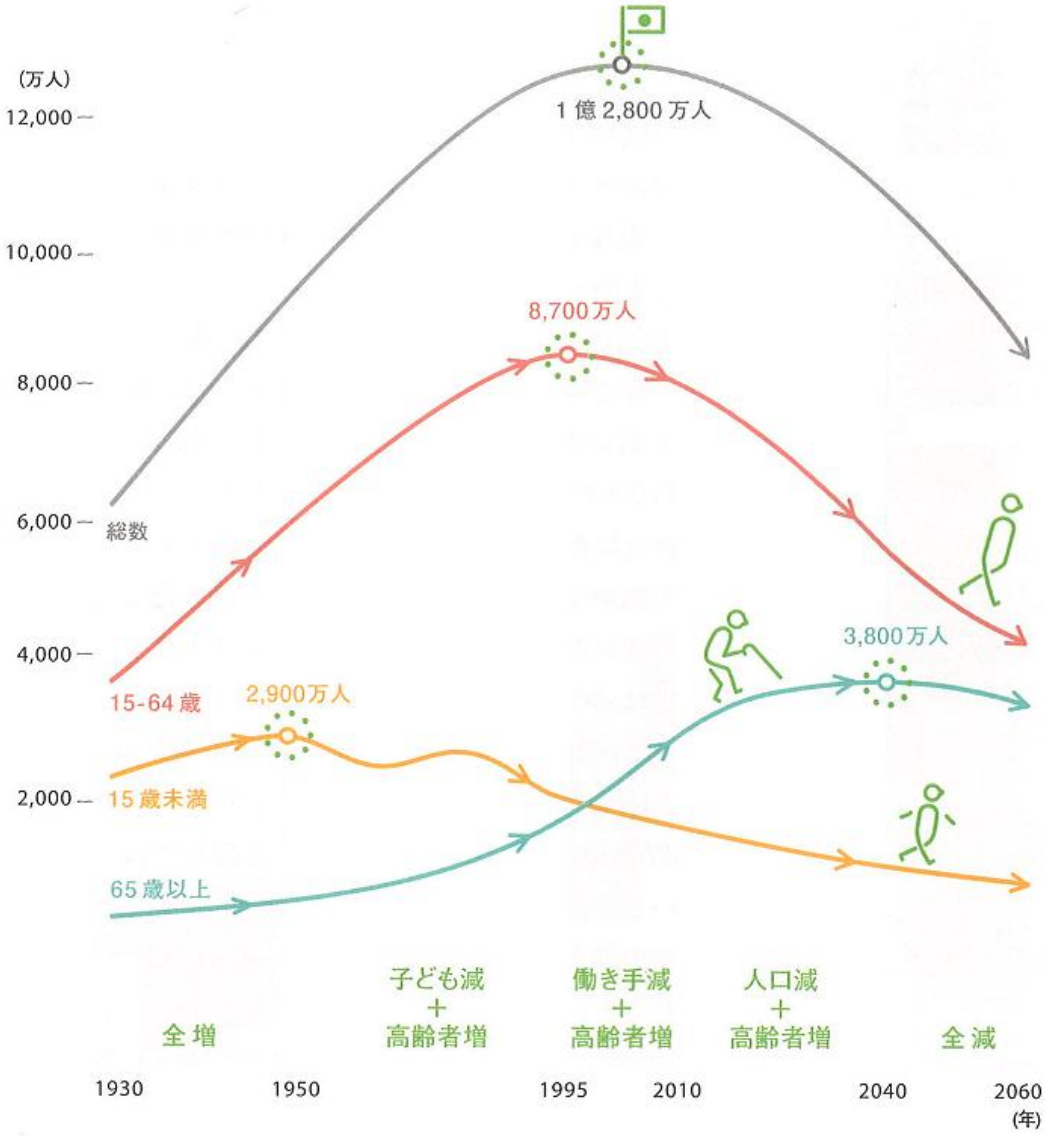
基本目標Ⅳ
(**時代に合った地域**をつくり、**安心な暮らしを守る**とともに、地域と地域を連携する)

住み続けられる持続可能なまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する

日本の総人口の超長期推移（- 2100年）

出典：人口減少×デザイン
著　筧　裕介

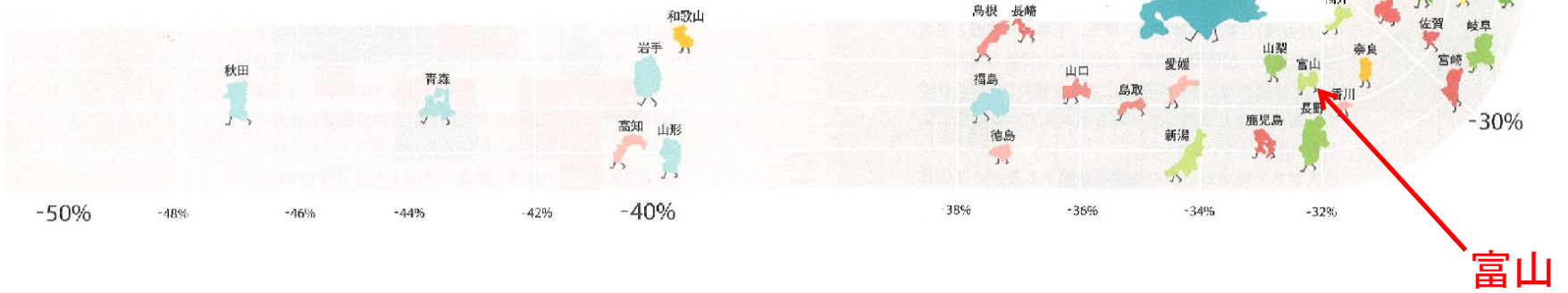
３区分年代別人口の推移（2012年1月推計）



出典：人口減少×デザイン　著　筧　裕介

2050年における都道府県別人口減少率（2010年比）

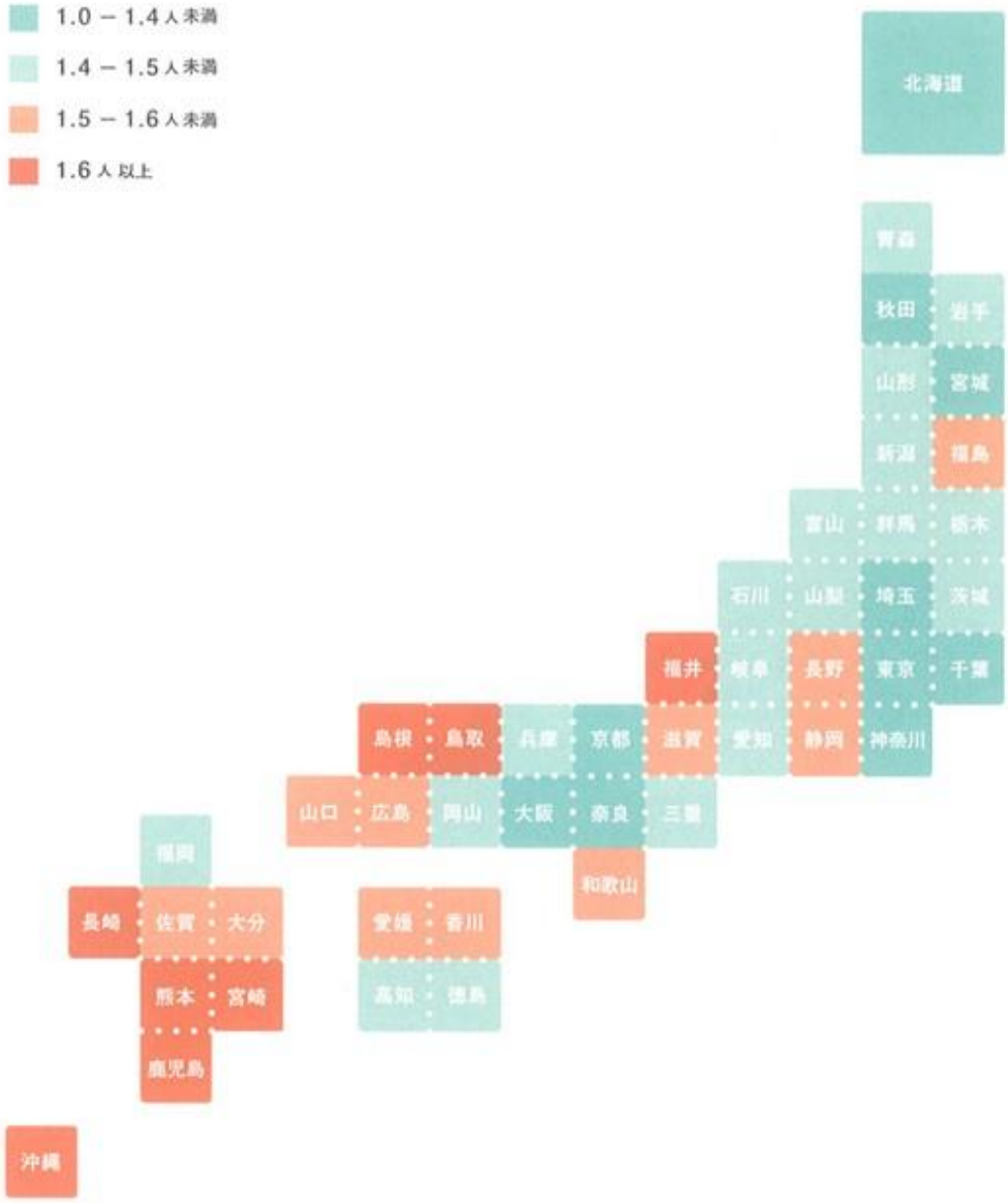
	2020年		2030年		2040年	
1	秋田県	-11.7%	秋田県	-23.8%	秋田県	-35.6%
2	青森県	-10.0%	青森県	-21.0%	青森県	-32.1%
3	高知県	-9.3%	高知県	-19.5%	高知県	-29.8%
4	岩手県	-9.3%	岩手県	-19.4%	岩手県	-29.5%
5	山形県	-9.1%	山形県	-18.8%	山形県	-28.5%
43	滋賀県	+0.2%	愛知県	-2.7%	神奈川県	-7.8%
44	愛知県	+0.4%	滋賀県	-2.5%	愛知県	-7.5%
45	神奈川県	+0.8%	神奈川県	-2.4%	滋賀県	-7.2%
46	東京都	+1.2%	東京都	-1.5%	東京都	-6.5%
47	沖縄県	+1.7%	沖縄県	+0.9%	沖縄県	-1.7%



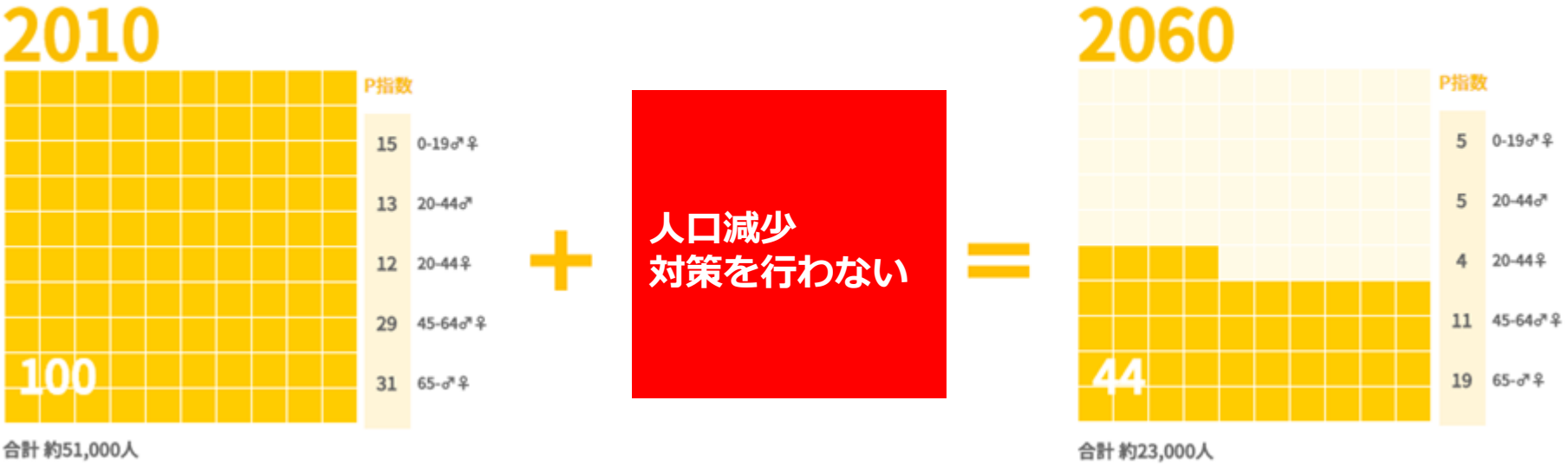
富山

出典：人口減少×デザイン　著　筧　裕介

都道府県別合計特殊出生率（2013年）



出典：人口減少×デザイン
著　筧　裕介



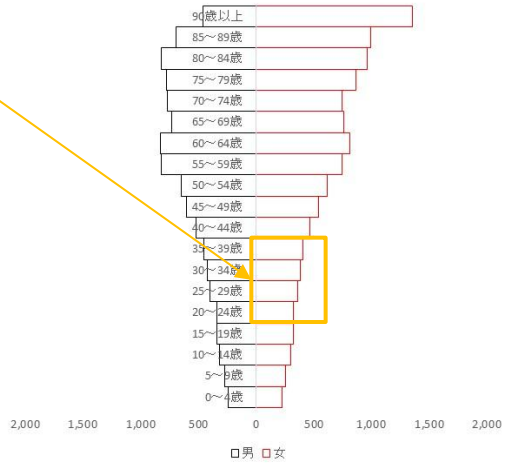
氷見市全体の**２０―３９歳までの女性人口**

2010年 **４，８２４人** ⇒ 2060年 **１，４７６人**

園地区の**２０―３９歳までの女性人口**

2010年 **１０９人** ⇒ 2060年 **３３人**

2060年の人口構成(氷見市全体)

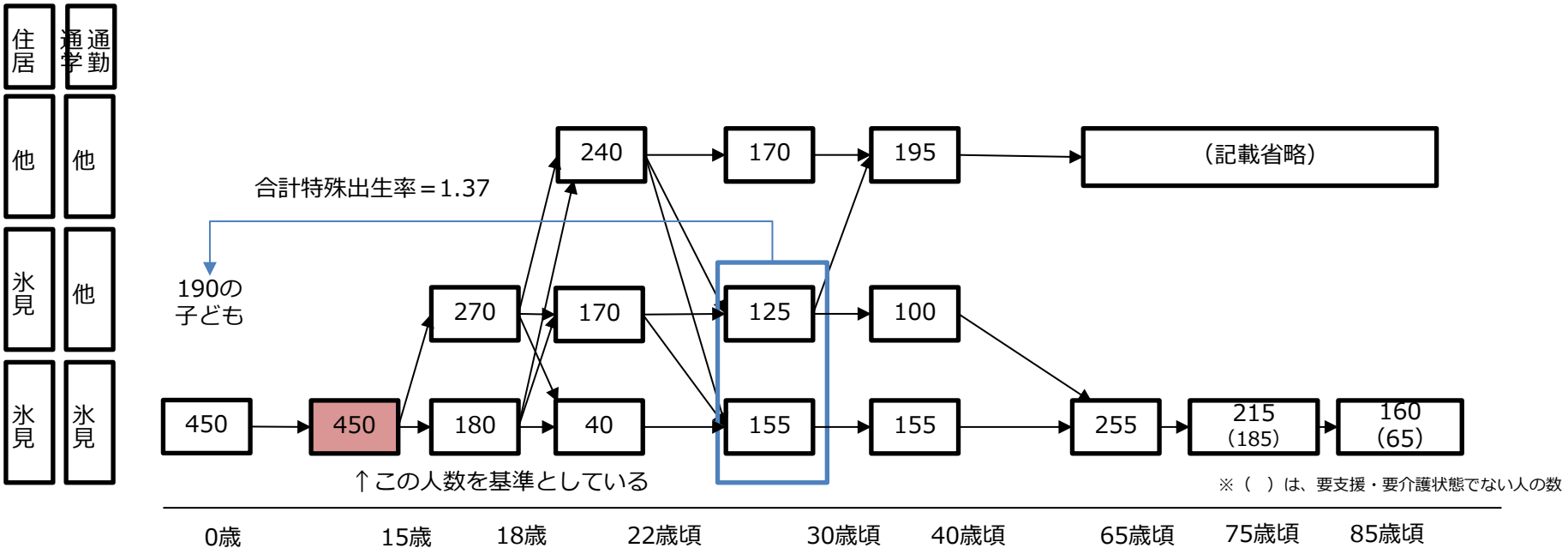


※園地区の２０６０年の２０～３９歳までの女性人口については、園地区の２０１０年の人口に、氷見市全体の２０１０年→２０６０年の比率を乗じて算出
※2060年の人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所の算定式をベースとした推計値を利用

出典：issue+design　http://issueplusdesign.jp/jinkogen/

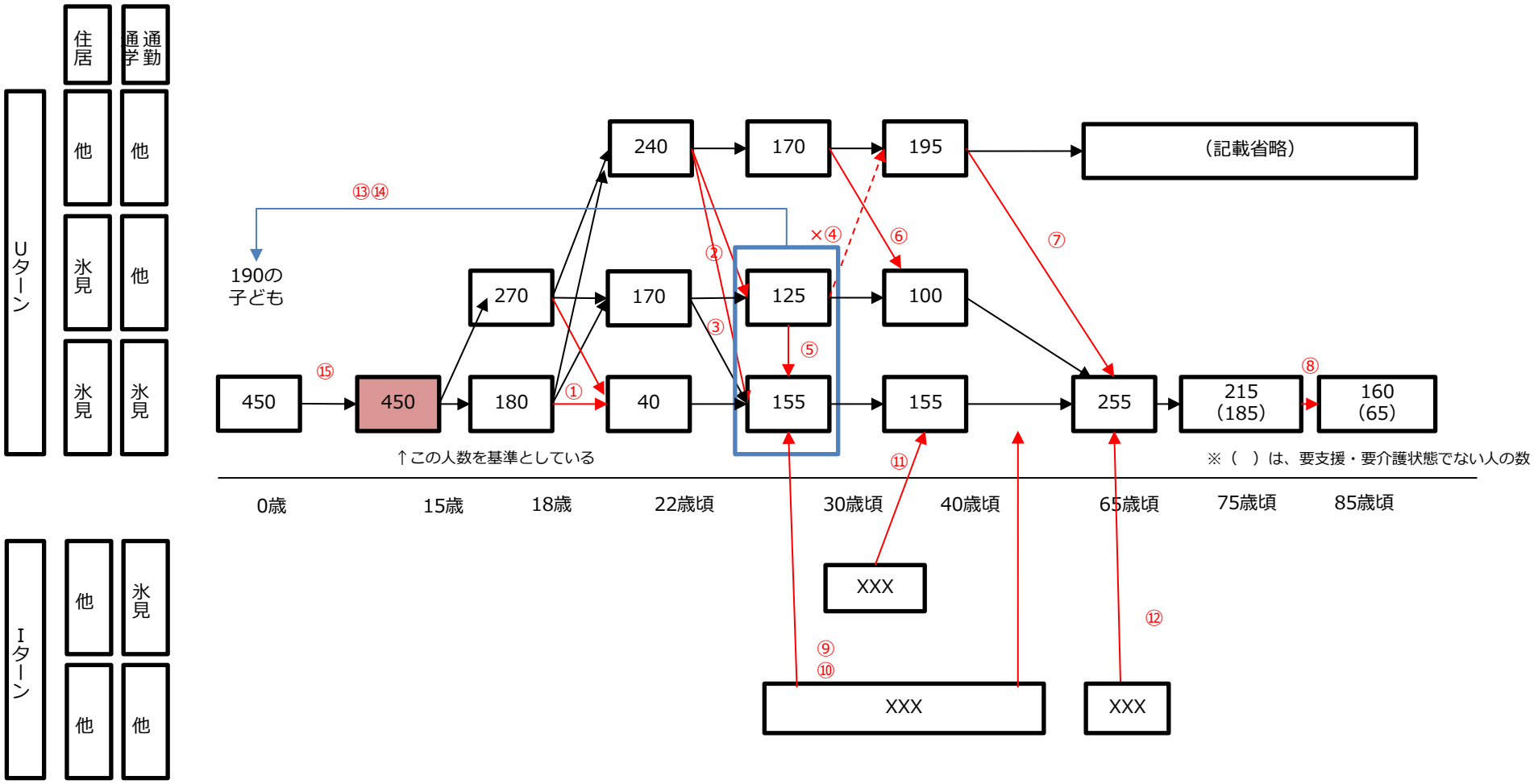
【現状】氷見市の中学生が卒業後に、どこに居住・通勤通学をするか？（※単位：人）

※450人（平成23年度～平成26年度に氷見市内の中学校を卒業する人数を参考とした数）を基準とした



※上記のモデルは、氷見市教育委員会資料（平成23年度～平成26年度の中学校卒業生の進路）、resas『富山県氷見市 年齢階級別純移動数の時系列分析』、S55～H22年国勢調査、とやま統計ワールド経由で取得した「平成11年富山県の人口」および「平成26年富山県の人口」、H25～H27ハローワーク氷見の資料、resas経由で取得した『人口動態調査』、公益財団法人　生命保健文化センター資料（元データは厚生労働省「介護給付費実態調査月報（平成26年7月）」 総務省「人口推計月報（平成26年7月）」）、国立社会保障・人口問題研究所の氷見市の生残率、住民基本台帳のH26出生数をベースとしてヒアリング等を踏まえて推計を実施。

【未来】希望をかなえ、持続可能な社会にするための「氷見市15の戦略」



①【しごと】氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす
②【ひとの流れ】20代のUターンを増やす
③【しごと】氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす
④【ひとの流れ】氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす
⑤【しごと】④のために、氷見市に子育てと　両立する仕事を増やす
⑥【子育て】子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす
⑦【ひとの流れ】定年後のUターンを増やす

⑧【安心な暮らし】長生きをする＆健康寿命を伸ばす
⑨【ひとの流れ】20～40代のIJターンを増やす
⑩【しごと】20～40代のIJターン者が就きたい仕事を増やす
⑪【ひとの流れ】他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす
⑫【ひとの流れ】定年後のIJターンを増やす
⑬【結婚】婚姻数を増やす
⑭【出産】出生数を増やす
⑮【ひとの流れ】未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

人口流出を防ぐ／流入を増やすために現状から積み増したい具体的人数

年あたり純移動数の増加人数
※現在の純減数を基準として、年間で更に積み増す目標人数

【観点との関連】

⑮【ひとの流れ】未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

①【しごと】氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす

※高卒の仕事に就いた瞬間に純増しないと想定されるので、ゼロとした（⑤と⑪に寄与することを想定）

②【ひとの流れ】20代のUターンを増やす
③【しごと】氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす

④【ひとの流れ】氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす
⑤【しごと】④のために、氷見市に子育てと　両立する仕事を増やす
⑥【子育て】子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす
⑨【ひとの流れ】20～40代のIJターンを増やす
⑩【しごと】20～40代のIJターン者が就きたい仕事を増やす
⑪【ひとの流れ】他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす

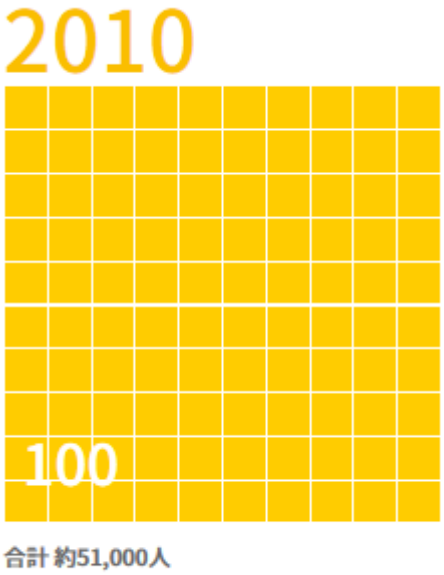
⑦【ひとの流れ】定年後のUターンを増やす
⑫【ひとの流れ】定年後のIJターンを増やす

全体	氷見市全体 150人の純増	園 地区の場合（氷見市全体の１／４３の人数を記載）
0～4歳→5～9歳	15	約0.3人
5～9歳→10～14歳	0	
10～14歳→15～19歳	0	
15～19歳→20～24歳	0	
20～24歳→25～29歳	75	約1.7人
25～29歳→30～34歳	20	約0.6人
30～34歳→35～39歳	20	約0.6人
35～39歳→40～44歳	5	約0.1人
40～44歳→45～49歳	0	
45～49歳→50～54歳	0	
50～54歳→55～59歳	0	
55～59歳→60～64歳	0	
60～64歳→65～69歳	15	約0.3人
65～69歳→70～74歳	0	
70～74歳→75～79歳	0	
75～79歳→80～84歳	0	
80～84歳→85～89歳	0	
85歳以上→90歳以上	0	
合計	150	約3.6人

※人数配分については、推進協議会を経た後で変える可能性がございます

※社会純増の人数は年間の人数。推計条件に従った厳密な計算では、5年間の社会純増数を5で除したものです。例えば、150人の純増のうち、20～24→25～29歳の人数は75人ですが、推計上は5年で375人という単位で計算したものです

合計特殊出生率が上昇し、前ページの目標(積み増したい人数)を達成した場合の園地区の人口



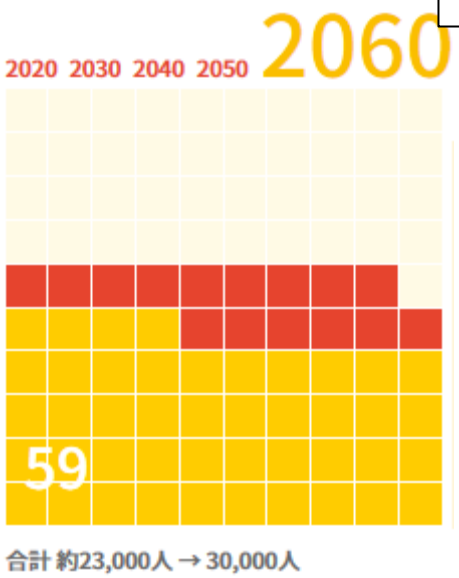
＋

合計特殊出生率
1.37 → **2.07**
にする

転入者数（年間）
１．２人増やす

転出者数（年間）
２．４人減らす
※もしくは戻って来る人を２．４人増やす

＝



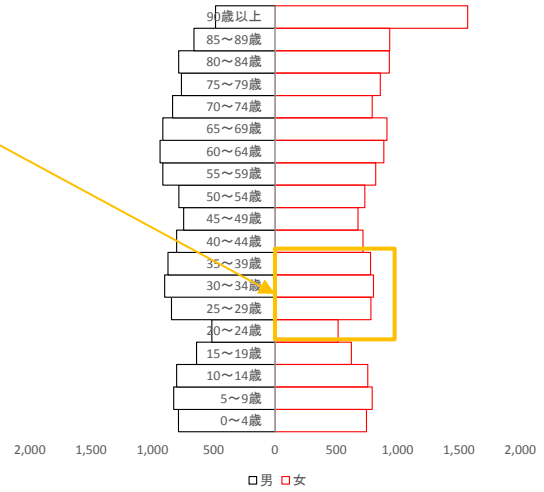
氷見市全体の**２０―３９歳までの女性人口**

2010年 **４，８２４人** ⇒ 2060年 **２，８８０人**

園地区の**２０―３９歳までの女性人口**

2010年 **１０９人** ⇒ 2060年 **６５人**

2060年の人口構成（氷見市全体）



※園地区の２０６０年の２０～３９歳までの女性人口については、園地区の２０１０年の人口に、氷見市全体の２０１０年→２０６０年の比率を乗じて算出
※2060年の人口構成は、氷見市人口ビジョンより

デザインはissue+design　http://issueplusdesign.jp/jinkogen/より。推計結果については、氷見市の人口ビジョンの人口目標を利用

地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！
井戸端会議をしてみよう！

①４～５人でグループをつくります。
②各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
③ご意見は全体で共有し、地方創生総合戦略の参考意見とさせていただきます。

Ｑ１．園地区へ転入者を増やすために、
どんなことをすればよいでしょうか。

Ｑ２．園地区から転出者した方を戻すために、
または転出してもらわないために、
どんなことをすればよいでしょうか。

意見交換

園　地区代表
前澤 照明 様